

インターバンクの声（2015年2月24日）

昨日の海外市場は、欧州時間朝方の独2月IFO景況指数やニューヨーク時間の1月米中古住宅販売件数くらいしか目立つ経済指標の発表もなく、ユーロが60ポイント程度、豪ドルやドル円は30ポイントほどの値幅しかない静かな為替相場だった。週末には改めて米連邦準備制度理事会（FRB）の夏頃の利上げ観測が戻っている様子だったが、昨日の中古住宅販売数の減少で再び夏頃の利上げ見通しが後退してしまったようだ。材料が少ないので仕方がないところだが、24日と25日のイエレンFRB議長の議会証言の内容次第では、いくらでも相場見通しも変わってくるはずだ。中国では春節休暇が続いており、オーストラリアや日本でも主要経済指標の発表予定もなく、今日も日経平均の動きくらいしか注目する材料がない。昼間はエネルギーを溜めてイエレン議長の議会証言に備えるのが賢明のようだ。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。